



あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかり考える子 ことばを大切にする子



こんな じゃんけんは いかが？



○1年生の国語で、『じゃんけんやさん』をひらこう」という学習をしました。大事なことを順序よく説明する学習です。「石」「はさみ」「かみ」のように、勝ったり負けたりする3つの組み合わせを考えて、新しいじゃんけんをつくります。「グー」「チョキ」「パー」にかわる身振りも考えます。そして、①なにをつかって、じゃんけんをするのか。②かちまけは、どのようにきまるのか。③どのようなみぶりであらわすのか。を順序よく人に説明するのです。

本校二人の1年生はこんなじゃんけんをつくり、人に説明をし、実際にやってみました。



「はち」と「人」と「花」をつかって、じゃんけんをします。「はち」は、「人」にかちます。「はち」は、人をさすからです。「人」は、「花」にかちます。「人」は、「花」をとることができるからです。「花」は、「はち」にかちます。「花」は、「はち」をみつでおびきよせるからです。

「はち」は、人にむかって人さしゆびをさします。「人」は、かたてをのばして、あたまの上でふります。「花」は、りょうてをあわせて、むねのまえで花のかたちをつくります。わかりまし

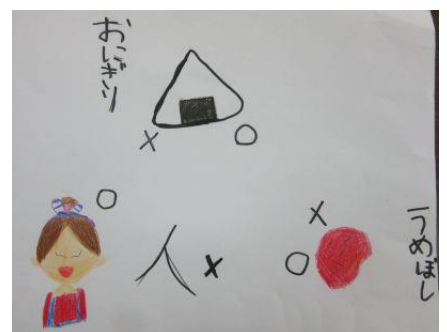
たか。では、いっしょにやってみましょう。

「おにぎり」と「うめぼし」と「人」をつかって、じゃんけんをします。

「おにぎり」は、「うめぼし」にかちます。「おにぎり」は、ごはんを「うめぼし」をつつむからです。「うめぼし」は、「人」にかちます。「うめぼし」は、「人」にはすっぱいからです。「人」は、「おにぎり」にかちます。「人」は、「おにぎり」をたべるからです。

「おにぎり」は、りょうてをあたまの上であわせて、「おにぎり」のようなかたちをつくります。「うめぼし」は、かたほうのての、おやゆびとそのほかのゆびをあわせて、まるをつくります。「人」

は、かたほうの手のおやゆびをじぶんに向けてポーズをつくります。わかりましたか。では、いっしょにやってみましょう。



○なかなかうまく考えて、順序よく説明することができていますね。人に分かりやすく伝える話し方は、こうした学習の積み重ねで身に付いていくのです。

